

## (10) 手 稲 区

### 概 況

手稲区は、市の北西部に位置し、小樽市、石狩市に接しています。区の南西部に連なる手稲山系の山々の中でも、特に手稲山は手稲区のシンボルであり、スキー、スノーボード、ハイキングなど、絶好のスポーツ・レクリエーションの場として、市民から四季を通して親しまれています。一方、北部から東部にかけては、かぼちゃ（大浜みやこ）やスイカ（サッポロスイカ）などを栽培している手稲山口地区や手稲町時代からの市街地、星置地区、前田地区などの新興住宅街が広がっています。

### 歴 史

手稲は、明治の初期に北海道開拓の交通の要衝として開けました。開拓当時、小樽港から開拓使本府が置かれた札幌への中継地点で物資の集散地となった軽川（現在の手稲本町）やサンタロベツ（現在の富丘）に集落が形成されるようになりました。明治の中ごろになると手稲山口地区や星置地区への入植者が農耕地としての開墾を始めた一方、低湿地だった前田地区、新発寒地区は酪農地へとその姿を変えていきました。

手稲山の金鉱山は、昭和10年代に最盛期を迎え国内第2位の産金量を誇ったものの、戦後次第に衰退していき昭和46年に閉山しました。

昭和42年に手稲町は札幌市と合併、以後、新興住宅地が次々とでき、発展のスピードは加速していきました。昭和47年に開催された札幌冬季オリンピック大会では、手稲山はアルペンスキーやボブスレー、リュージュ競技の会場となり、その名が世界に知られるようになりました。

平成元年に西区から分区し、現在の手稲区が誕生しました。

### アクションプラン2015におけるまちづくりの取組

手稲区では、誰もが安全に安心して暮らせる「人に優しいまちづくり」を推進し、魅力ある区の地域資源を活用しながら、区民が“住んでいて良かった”と実感できるような「ふるさと手稲づくり」を目指して取組を進めています。

夏の風物詩「ていね夏あかり」、生涯スポーツ社会の実現を目指した「スポーツ・レクリエーション祭」など、区民との協働により開催しているイベントは、手稲区を代表する行事として多くの区民に親しまれています。

また、JR手稲駅橋上化と併せて整備された「あいくる」は、文化・芸術活動の発表の場としてたくさんの区民に活用されており、手稲のシンボリックなスペースとなっています。

マスコットキャラクターの「ていぬ」は、区主催の行事をはじめ、地域や商店街等のイベントにも登場するなど幅広い方々から愛されており、区のイメージアップと地域の活性化に向けて活躍しています。

令和元年には区制30周年を迎えたことから、区の親善大使である三浦雄一郎氏を招いた講演会や区民参加型ワークショップを開催し、手稲の魅力を改めて認識する契機としました。

## 取組目標・主な取組

### 手稲区 まちづくりの2つの目標 「人にやさしいまちづくり」「ふるさと手稲づくり」

取組1：安心して暮らせるまちへ	
防災・防犯の取組において区民や関係団体との連携を深め、安心して暮らせるまちを目指します。	
安全・安心なまちづくり総合戦略事業 (P.37)	地域の自主防災力の向上を目的として、避難所開設運営実地研修などを実施するとともに、避難所物資の拡充などに取り組みます。また、地域・事業者・行政などの関係機関が合同して訓練や会議を開催し、連携を深めることで、地域全体の防災力向上を目指します。
取組2：魅力の再発見と発信	
手稲区の魅力を積極的に発信し、住んでいて良かったと実感できるまちづくりに取り組みます。	
手稲ふるさと創生事業 (P.67)	手稲山の自然に触れて親しんでもらえるよう、手稲山ウォーキングや親子スキー教室などのイベントを開催し、魅力再発見につなげます。また、親善大使の三浦雄一郎氏、ふるさと大使の伊藤多喜雄氏やマスコットキャラクター「ていぬ」の活用を通して、手稲の魅力を発信します。
取組3：大学や近隣市と連携したまちづくり	
北海道科学大学や近隣自治体と連携し、地域の魅力向上を目指したまちづくりに取り組みます。	
大学と連携したまちづくり (★)	地域包括連携協定を結ぶ北海道科学大学と連携してまちづくりを推進します。
近隣市との連携によるまちづくり (★)	行政・住民間の交流を深めるため、小樽市・石狩市と連携してJR手稲駅「あいくる」での観光PRイベントなどを行い、協力してまちづくりに取り組みます。
住んでますます「ていねっていいね」健康長寿事業 (P.52)	北海道科学大学とウォーキングアプリを構築し、その活用術を発信するとともに、企業等と連携して、区内どの地区に住んでいても健康度がアップする取組を展開します。
取組4：人と人が支え合うまちへ	
“人に優しいまち”を目指し、災害時の支え合いや地域で子育てを支える環境づくりを推進します。	
安全・安心なまちづくり総合戦略事業 (P.37)	災害時の避難に援助が必要な高齢者などに配慮した、地域での自主的な避難体制づくりを推進するため、災害時要配慮者地域支え合い活動に関する研修を実施します。
地域で子育てを支える環境づくり (★)	手稲ばわふる☆きっずらんど等の乳幼児と中高生・大学生が楽しく交流するイベントの開催などを通して、地域一体で子育てを支える環境づくりを目指します。

注) 事業名内の (★) は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.66)による実施



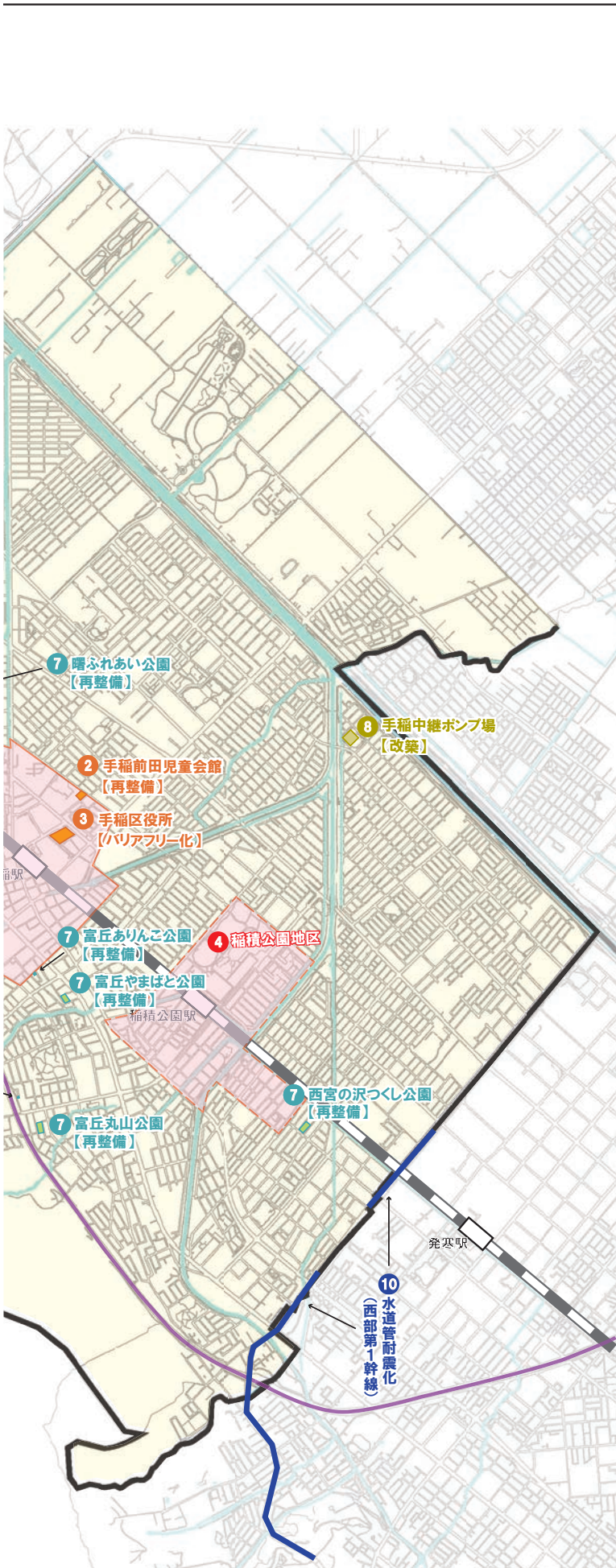




# 手稲区

## 事業一覧

No.	事業名	ページ
①	学校増築事業	59
②	児童会館等再整備事業	61
③	区役所等バリアフリー化事業	62
④	安全・安心な道路環境の整備事業	63
⑤	小学校併設地域交流施設等整備事業	64
⑥	下水道エネルギー・資源有効利用事業	107
⑦	地域と創る公園機能再編・再整備事業	117
⑧	下水道施設の再構築事業	121
⑨	緊急遮断弁整備事業	121
⑩	配水幹線連続耐震化事業	121
⑪	水道施設耐震化事業	122
⑫	下水道整備と水質改善事業	122



## 地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です  
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

## 地図の見方

